

普及現地情報



発信年月日：令和6年(2024年)3月27日
所属名：東近江農産普及課西部
番号：E23009
部門分類：160(果樹)
発信者名：藤川

山之上生産組合柿部会が今津の柿を視察 ～10年後を見据えて～

令和6年3月13日、山之上生産組合の柿部会員5名が、今津町果樹組合における柿の早生品種導入の取組について視察を行いました。

山之上生産組合は、平成7～8年に竜王町の山之上農林公園内に果樹団地が造成されてから、30年の節目を目前にし、産地の10年後を見据えた新たな取組について検討を重ねてきました。その中で、柿部会では従来品種「富有」が9割以上を占める現状の品種構成から、糖度が高く果肉品質の優れた早生品種を導入することで、直売所への集客を図り、竜王柿のイメージアップに取組むことを決めました。

今回の視察では、高島地域ですでに植栽が進んでいる早生品種「太秋」や「麗玉」、「太雅」の樹の仕立て方や剪定の程度、消費者からの評判について、高島農産普及課の担当者から説明を受けました。柿部会員は、「太秋」が消費者に人気で、予約販売で売り切れることや、「麗玉」が美しい外観と高糖度でさらに生産拡大が期待されることを聞き、新品種導入に向け一層意欲が向上した様子です。

今後の本格的な早生品種導入に向け、柿部会に対し引き続き現地指導や研修会による支援を行います。



「太秋」を視察する部会員



ポットで導入されている
「麗玉」など